

都島区高齢者地域包括ケアシステム推進会議 議事録

日時 : 令和3年10月28日(木)14時00分~15時30分

場所 : 都島区保健福祉センター分館2階

出席者 : 名簿のとおり

議 事

1. 会議の目的と開催予定

目 的 : 開催要綱第1条のとおり。

開催予定 : 今年度の2回目は3月を予定。次年度からは9月と3月の実施予定。

2. 本会議・コアメンバー会議・作業部会にて会議を運営 … 資料1参照

3. 高齢者に関する都島区の課題の共有 … 下記6つの課題の共有を行う

「多(他)職種連携」・「複合課題のあるケース支援」・

「独居高齢者が要介護状況になった際に、在宅での生活が難しい傾向」

「独居の高齢者の孤立及び安否確認」・「コロナ禍で利用できる社会資源の減少」・「相談先の周知」

4. 今後本会議で検討していく課題についてと作業部会の構成団体の確認

複合課題のあるケースが増えているため、課題としては「複合課題のあるケース」

【めざすシステム】

「本人家族の精神疾患に対し、精神科の医師の協力を得ながら、専門家に相談できる都島区のシステム作り」

【作業部会構成団体】 … 資料2参照

5. 意見交換(委員からの主な意見)

- ・ 本人了解がないと認知症等の診断は専門医にしてもらえないなど、認知症、精神障がい等の対応は、連携のシステムに様々な課題がある。
- ・ 障がいや精神疾患に関する制度の理解が難しく、各種の申請手続きも分かりにくいのが実態。
- ・ 地域では(高齢者について)どこに相談をもっていけば分からないことも多い。窓口の一本化が望ましい。
→ 高齢者に関する相談は、一義的には、先ず、地域包括支援センターが窓口となる。
- ・ 地域のつながりも少なくなっているのも課題。
- ・ 土日祝夜間の相談も増えているが、どこにつなぐか苦労する。
- ・ 障がい者手帳や受診歴の無い方はどこにもつながりがないなどの課題もある。
- ・ 各専門職が頑張っておられるが、医療・介護の全体を見ることのできる人が少ない。
- ・ 公的支援や社会資源がなかなか分かりにくい。表になったものがあればよい。
- ・ 複合課題になる前に課題を取り除けたらと考えるが、認知症については当事者の発信を進めている。住民の意識を変えることも大切。
- ・ 助けを必要とする方の個人情報の取扱いについて、支援者間での情報共有が制約されている(何らかの問題で課題の共有ができていない)現状がある。
→ データ提供の責任を明確にしたうえで共有できるシステムが出来ればよいが。

6. 今後の予定

11月に作業部会の推薦依頼を予定。